

授業 コード	10303	科目名	イタリア語・イタリア文化		担当者		西村 周浩			
		副題		開講期	前期	単位数	2	DP対応	3,K4	
【授業概要】										
イタリア語の発音や基本的な文法を学びながら、日常的な会話表現の練習を行っていきます。また、文法や会話表現から見える言語の姿から、イタリア語話者の考え方や価値観についても学んでいきます。										
【到達目標】										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・イタリア語の初級文法を説明できる。</li> <li>・イタリアを旅行する際に役に立つ表現を実践できるようにする。また、読解などの言語運用の基礎を作る。</li> <li>・イタリア語を通じて、自文化における考え方を相対化できるようにする。</li> </ul>										
【授業方法・計画】										
教科書にそって、ダイアログ、文法、練習問題の説明を行っていきます。										
第1回	導入、Lezione 1(自己紹介;話してみよう;出会い)文法説明									
第2回	Lezione 1(自己紹介;話してみよう;出会い)文法説明(続き)									
第3回	Lezione 1 練習問題									
第4回	Lezione 2(パールで;お店で)文法説明									
第5回	Lezione 2(パールで;お店で)文法説明(続き)									
第6回	Lezione 2 練習問題									
第7回	Lezione 3(大学で;食堂で)文法説明									
第8回	これまでのまとめ、Lezione 3(大学で;食堂で)文法説明(続き)									
第9回	Lezione 3 練習問題									
第10回	Lezione 4(女友達と;レストランで)文法説明									
第11回	Lezione 4(女友達と;レストランで)文法説明(続き)									
第12回	Lezione 4 練習問題									
第13回	Lezione 5(時間割;旅行の計画)文法説明									
第14回	これまでのまとめ									
【準備学習・復習】										
準備学習:教科書の文法説明等に目を通しておくことが望ましい。練習問題は宿題とするので、必ず行うように(100分)。復習:数回行う予定の小テストに対応できるよう、授業で扱った内容の見直し(100分)。										
【課題に対するフィードバックの方法】										
授業内で説明する。										
【受講上のアドバイスおよび注意事項】										
辞書等で単語の意味を調べる手間をいとわないように。また、教科書に付属のCDを積極的に利用してください。質問は授業時間終了後に教室でも受け付けます。										
成績評価方法	数回行う予定の小テスト90%、積極的な授業参加10%									
教科書	Juri Waguri(和栗珠里), Eri Nawate(暇 絵里) 『Italiano più attivo! ピュ・アッティーヴォ!』(白水社、2013年)									
参考書	特になし									
CB0117	授業に関連する実務経験				なし					